

最高裁判所裁判官及び高裁長官人事の一覧表(現職→経験者の直後の職)

R3.2.28 日時点

59期弁護士 山中理司(大阪)

番号	直後の職 現職	現職者・就任日 退官予定日	最高裁 長官	最高裁 判事	東京高裁 長官	大阪高裁 長官	名古屋高裁 長官	広島高裁 長官	福岡高裁 長官	仙台高裁 長官	札幌高裁 長官	高松高裁 長官
1	東京高裁長官 (27人中17人が昇進)	今崎幸彦(35)(刑事) R1.9.2就任 R4.11.10退官予定	竹崎博允(21)	矢口洪一(0)、大内恒夫(0) 四ッ谷巖(1)、草場良八(3) 大西勝也(5)、三好達(7) 金谷利廣(12)、町田頭(13) 泉徳治(15)、今井功(16) 白木勇(22)、山崎敏充(27) 小池裕(29)、戸倉三郎(34) 深山卓也(34)、林道晴(34)								
2	大阪高裁長官 (24人中13人が昇進)	安浪亮介(35)(民事) H30.12.18就任 R4.4.19退官予定		真家克己(2)、小野幹雄(7) 藤井正雄(9)、上田豊三(15) 島田仁郎(16)、堀籠幸男(19) 涌井紀夫(18)、金築誠志(21) 太谷剛彦(24)、大谷直人(29) 菅野博之(32)	川崎義徳(8) 吉戒修一(25)							
3	名古屋高裁長官 (25人中5人が昇進)	永野厚郎(35)(民事) R2.5.8就任 R3.4.8退官予定		香川保一(1)	大内恒夫(0) 栗原平八郎(6) 竹崎博允(21) 山崎敏充(27)							
4	広島高裁長官 (28人中11人が昇進)	小川秀樹(37)(民事) R2.10.19就任 R4.5.21退官予定	寺田逸郎(26)		四ッ谷巖(1) 桜井文夫(11) 白木勇(22)	真家克己(2) 黒川正昭(2) 青木敏行(9) 上田豊三(15) 永井敏雄(26)			龍岡資晃(18) 中山隆夫(26)			
5	福岡高裁長官 (24人中10人が昇進)	小野憲一(36)(民事) R2.2.5就任 R3.10.7退官予定	可部恒雄(4)、山口繁(9) 北川弘治(11)		石田種一(5) 町田頭(13) 安倍嘉人(23)	涌井紀夫(14) 大野市太郎(24)	坂井芳雄(0) 千葉和郎(2) 井口牧郎(2)					
6	仙台高裁長官 (23人中13人が昇進)	青柳勤(33)(刑事) R2.3.30就任 R3.5.6退官予定	近藤崇晴(21)、千葉勝美(24)		今井功(16) 倉吉敬(28)	上谷清(10) 島田仁郎(16)	沖野威(2) 栗原平八郎(6) 野崎幸雄(8) 房村精一(23)	藤田耕三(9) 相良朋紀(21)	井口牧郎(2)			
7	札幌高裁長官 (23人中7人が昇進)	合田悦三(34)(刑事) R2.7.28就任 R3.8.2退官予定			杉山克彦(1) 三好達(7) 仁田陸郎(18)	斎藤平伍(試補)	香川保一(1) 綿引万里子(32)			佐々木史郎(4)		
8	高松高裁長官 (25人中8人が昇進)	高部真規子(33)(民事) R2.10.19就任 R3.9.2退官予定			富越和厚(24)	佐々木茂美(26)	奥村正策(3) 荒井史男(14)	兒島武雄(2) 青木敏行(9) 田尾健二郎(20) 松本芳希(28)				
9	知財高裁所長 (7人中2人が昇進)	大鷹一郎(35)(民事) R2.10.19就任 R5.6.13退官予定							篠原勝美(21)			高部真規子(33)
10	最高裁事務総長 (15人中15人が昇進)	中村慎(40)(民事) R1.9.2就任 R8.9.12退官予定	千種秀夫(7)		矢口洪一(0) 草場良八(3) 大西勝也(5) 金谷利廣(12) 泉徳治(15) 戸倉三郎(34) 今崎幸彦(35)	川崎義徳(8) 堀籠幸男(19) 大谷剛彦(24) 大谷直人(29)	勝見嘉美(3) 竹崎博允(21) 山崎敏充(27)					
11	最高裁首席調査官 (12人中12人が昇進)	尾島明(37)(民事) H30.1.9就任 R5.9.1退官予定			林道晴(34)			永井敏雄(26)		今井功(16) 近藤崇晴(21) 千葉勝美(24)	三好達(7) 金井康雄(30)	
12	司法研修所所長 (18人中15人が昇進)	笠井之彦(42)(民事) R3.2.27就任 R5.5.21退官予定				小野幹雄(7) 岡田良雄(13) 小泉博嗣(31)	山名学(30) 永野厚郎(35)	桜井文夫(11)	山口繁(9) 涌井紀夫(18) 大野市太郎(24) 安井久治(28)	島田仁郎(16) 相良朋紀(21)		佐々木茂美(26)
13	東京地裁所長 (25人中18人が昇進)	後藤博(35)(民事) R3.1.11就任 R5.4.18退官予定			小池裕(29)	金築誠志(21) 吉戒修一(25) 安浪亮介(35)	大内恒夫(0) 神垣英郎(11) 岡田雄一(27)	上田豊三(15) 白木勇(22)	西村宏一(1) 可部恒雄(4) 池田修(24) 荒井勉(29)	井口牧郎(2) 沖野威(2) 藤田耕三(9)	梅田晴亮(8)	
14	東京家裁所長 (23人中18人が昇進)	杉原則彦(33)(民事) R2.12.15就任 R3.11.13退官予定					浜崎恭生(16) 中込秀樹(19) 細川清(21) 門口正人(23)	西岡清一郎(27) 大門匡(34)	千葉和郎(2) 猪瀬慎一郎(9) 北川弘治(11) 青山正明(15)		野田愛子(2) 山崎恒(26)	大石忠生(10) 田村幸一(30)
15	横浜地裁所長 (24人中17人が昇進)	団藤丈士(36)(民事) R2.12.15就任 R5.4.28退官予定				藤井正雄(9)		真家克己(2)	安倍嘉人(23)	野崎幸雄(8) 倉吉敬(28) 市村陽典(8)	鈴木重信(2) 佐々木史郎(4) 花尻尚(12) 加藤和夫(15) 仁田陸郎(18) 佐藤久夫(23) 榎村穂(34)	吉本徹也(19)
16	横浜家裁所長	廣谷章雄(37)(民事) H30.7.4就任 R4.11.2退官予定							沼邊愛一(0)			
17	さいたま地裁所長 (23人中19人が昇進)	大善文男(38)(刑事) H31.2.25就任 R6.11.3退官予定			深山卓也(34)				寺田逸郎(26)	北山元章(21)	河合健司(32)	
18	千葉地裁所長 (27人中25人が昇進)	堀田真哉(41)(刑事) H31.3.20就任 R3.8.2退官予定					原優(29)		清水湛(11)			合田悦三(34)
19	千葉家裁所長	矢尾和子(39)(民事) R2.12.15就任 R7.12.7退官予定										安藤裕子(29)
20	大阪地裁所長 (19人中13人が昇進)	中本敏嗣(34)(民事) R2.2.5就任 R4.1.17退官予定				原田直郎(5)	池田良兼(10)	黒川正昭(2) 鳥越健治(20)	坂井芳雄(0) 小野憲一(36)		斎藤平伍(試補) 大山隆司(22)	白井義則(1) 奥村正策(3) 青木敏行(9) 上野茂(14)
21	大阪家裁所長 (19人中13人が昇進)	田中俊次(34)(民事) R1.12.8就任 R3.6.10退官予定							川合昌幸(29)		石井一正(15)	兒島武雄(2) 林醇(22) 松本芳希(28)
22	京都地裁所長 (17人中15人が昇進)	松田亨(37)(民事) R1.12.8就任 R3.6.10退官予定										川口富男(11) 小久保孝雄(33)
23	神戸地裁所長 (21人中19人が昇進)	古財英明(38)(民事) R2.10.24就任 R4.8.20退官予定					島田禮介(12)				日高敏夫(2)	
24	名古屋地裁所長 (19人中7人が昇進)	大熊一之(37)(刑事) R3.2.13就任 R4.10.6退官予定							加藤義則(8) 稲葉威雄(14)	田中康久(17)	大内捷司(19)	西山俊彦(4)
25	福岡地裁所長 (16人中5人が昇進)	平田豊(39)(民事) H30.12.18就任 R5.11.29退官予定										前田一昭(9)
26	東京高裁部総括	①秋吉仁美(35)(5民) H30.1.29就任 R5.1.5退官予定 ②白井幸夫(36)(22民) H30.10.4就任 R4.4.25退官予定 ③若園敦雄(36)(1刑) H29.6.23就任 R5.6.29退官予定				菅野博之(32) 井上弘通(29)		四ッ谷巖(1) 時國康夫(4) 武藤春光(5) 松本時夫(12) 中山隆夫(26) 菊池洋一(30) 小川秀樹(37)	石田種一(5) 香城敏彦(12) 町田頭(13)	小林信次(0) 田尾桃二(3) 栗原平八郎(6) 上谷清(10) 小林充(11) 佐藤文哉(12) 原田和徳(19) 房村精一(23) 宮なほみ(26) 秋吉洋一(34) 青柳勤(33)	香川保一(1) 杉山克彦(1) 吉丸真(10) 田中康郎(23) 大橋寛明(26) 綿引万里子(32)	森川憲明(4) 荒井史男(14) 増井和男(18) 田尾健二郎(20) 江見弘武(21) 富越和厚(24) 出田孝一(27) 福田剛久(29)

*0 現職を左側に記載し、経験者の直後の職のうち高裁長官以上の職を右側に記載した。また、最後の職が最高裁判官である者は赤字表記とした。
 *1 「〇人中〇人が昇進」における〇人は高輪1期以降の裁判官であるところ、その中に現職は含まれていない。また、11番の最高裁首席調査官以下の場合、昇進後のポストが高裁長官以上とは限らない。
 *2 氏名右の()内の数字は期であり、0期は高輪1期(昭和22年12月修習終了)及び高輪2期(昭和23年4月修習終了)(裁判所法施行令18条参照)のことである。
 *3 最高裁判官(民事系は4人、刑事系は2人)の定年退官発令予定日(定年退官日の翌日)
 一 R3.7.31に小池裕(29)(民事)、R4.6.23に大谷直人(29)(刑事)、R4.7.31に菅野博之(32)(民事)、R6.8.11に戸倉三郎(34)(刑事)、R6.9.2に深山卓也(34)(民事)、R9.8.31に林道晴(34)(民事)
 *4 高裁長官(1番ないし8番)につき、民事系は5人、刑事系は3人である。
 *5 最高裁事務総長(10番)から福岡地裁所長(25番)までの裁判官につき、民事系は14人、刑事系は2人である。
 *6 26期の寺田逸郎最高裁長官の在任期間である平成26年4月1日から平成30年1月9日までの間、高裁長官に就任した場合、最高裁判事となった大谷直人(29期)、小池裕(29期)及び菅野博之(32期)を除き、原則としてその地の高裁長官を最後に定年退官した。

例外は平成27年4月2日に仙台高裁長官から東京高裁長官になった倉吉敬(28期)だけである。